



# PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

## U6 決勝／関西・東海予選（三重）

### 結果のお知らせ

#### <PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 U6 決勝／関西・東海予選>

- ◇2016年3月13日（日） 天候：晴れ
- ◇三重・亀山GC 亀の子ショートC（6歳以下男女 1765ヤード、パー64、）、  
同東C、西C（15-17歳男子 6717ヤード、パー72ほかカテゴリー別）
- ◇出場 262人

#### <U6 決勝／関西・東海予選 概況>

6歳以下の部男女でIMG A世界ジュニアゴルフ選手権（7月、米サンディエゴ）の日本代表が決まった。男子は、根本悠誠（千葉・柏さくら幼稚園年長）が3アンダー61の好スコアをマークして優勝した。女子では、長峰真央（千葉・若葉台幼稚園年長）が89のスコアながら2位に4打差をつけて日本代表を決めた。

予選では、15-17歳の部男子で山内一輝（大阪・追手門学院大手前中3年）が前半2アンダーで回った貯金を生かし、5オーバー77で阪根竜之介（東京・国土館高2年）と並んだもののカウントバックで1位となり、西日本決勝大会（4月2、3日、佐賀・若木GC）に進んだ。同女子では昨年の日本女子アマで2位に入った王天好（兵庫・ルネサンス大阪高1年）がただ一人アンダーパーの1アンダー71をマークして貫録をみせ、トップ通過した。13-14歳の部では、男子は小室敬偉（東京・成城学園中1年）、女子は藤原侑奈（大阪・金南中1年）がそれぞれ西日本決勝大会に進出した。

#### <IMG A世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表・U6（6歳以下）の部>

日本代表は、以下の通り。

- ▽6歳以下男子  
【1位】根本悠誠（千葉・柏さくら幼稚園年長）=61
- ▽同女子  
【1位】長峰真央（千葉・若葉台幼稚園年長）=89

#### <関西・東海予選 予選結果>

西日本決勝の進出者は以下の通り。\*敬称略

- ▽15-17歳男子  
【1位】山内一輝（大阪・追手門学院大手前中3年）=77 【2位】阪根竜之介（東京・国土館高2年）=77  
【3位】福田孔子（三重・崇広中2年）=78 【4位】沢田新（石川・松陽中3年）=78  
【5位】鈴木慶太（大阪・大阪学院大高2年）=79 【6位】新井隆一（愛知・西部中3年）=79  
【7位】高瀬龍馬（大阪・加美中3年）=80 【8位】井上達希（神奈川・聖光学院高1年）=80  
【9位】池田拓己（大阪・熊取北中3年）=81 【10位】矢野辰典（愛知・白山中3年）=81  
【11位】澤田響（福井・気比中3年）=82 【12位】土肥龍星（福井・進明中3年）=82  
【13位】梅田恭生（石川・宇ノ気中2年）=83 【14位】広山雄大（大阪・大池中3年）=84
- ▽同女子  
【1位】王天好（兵庫・ルネサンス大阪高1年）=71 【2位】平岡瑠依（大阪・大阪学芸高1年）=73  
【3位】金子桃果（岐阜・美濃加茂高1年）=74 【4位】種村梨央（三重・いなべ総合学園高1年）=76

【5位】寺西飛香留（兵庫・芦屋学園中3年）＝76 【6位】河野杏奈（千葉・麗澤高1年）＝78  
【7位】新 真菜弥（兵庫・大阪桐蔭高2年）＝78 【8位】大村桃葉（静岡・曳馬中3年）＝80  
【9位】佐野円梨（兵庫・芦屋国際中1年）＝81 【10位】仲村果乃（京都・京都聖母学院中2年）＝81  
【11位】神谷美緒（静岡・浜松西高中等部3年）＝82 【12位】高木美佑（愛知・円上中3年）＝82

▽13-14歳男子

【1位】小室敬偉（東京・成城学園中1年）＝76 【2位】玉木海凧（大阪・彩都西中1年）＝77  
【3位】釣浦郁真（大阪・甲南中2年）＝77 【4位】宇佐美友亮（愛知・北里中1年）＝78  
【5位】田中 翔（三重・白子中2年）＝80 【6位】中川怜次（滋賀・びわ中1年）＝80  
【7位】東出大雅（愛知・日進北中2年）＝81 【8位】金子駆大（愛知・南光中1年）＝81  
【9位】岡田竜空（京都・櫻原中1年）＝81 【10位】椎名将人（愛知・伊勢山中1年）＝82  
【11位】山岸咲槻（愛知・名古屋中2年）＝82 【12位】上久保拓海（京都・木幡中1年）＝83  
【13位】加藤遼也（愛知・鎌倉台中1年）＝83

▽同女子

【1位】藤原侑奈（大阪・金南中1年）＝81 【2位】遠藤夢里（愛知・高針台中2年）＝82  
【3位】江河 鈴（大阪・松原第六中1年）＝82 【4位】長田莉子（三重・久居東中1年）＝85  
【5位】内山愛梨（静岡・入野中1年）＝86 【6位】相原李帆（岐阜・真正中2年）＝87  
【7位】柳井美優（愛知・富木島中2年）＝87 【8位】神社佐也加（京都・京都聖母学院中2年）＝87  
【9位】仲野 綺良々（三重・津田学園中1年）＝87 【10位】高橋茉夢（大阪・三国中2年）＝87

▽11-12歳男子

【1位】近藤 港（愛知・大口西小6年）＝76 【2位】広山功喜（大阪・中川小5年）＝76  
【3位】益田 航（愛知・師勝北小5年）＝82 【4位】鳥居大揮（愛知・東刈谷小5年）＝85  
【5位】金指統哉（静岡・富士第一小5年）＝86 【6位】東堤爽太郎（京都・今池小5年）＝87  
【7位】小田祥平（愛知・竹島小6年）＝87 【8位】金子幸雅（愛知・富士松南小6年）＝87  
【9位】中川瑛太（岐阜・大野小4年）＝87 【10位】中川万龍（岐阜・大野小6年）＝87  
【11位】大谷 翼（京都・藤森小5年）＝87

▽同女子

【1位】杉浦愛梨（愛知・吉浜小6年）＝77 【2位】佐々木史奈（京都・金閣小6年）＝79  
【3位】根本梨瑚（兵庫・清和台南小6年）＝82 【4位】川端雪菜（石川・大野町小5年）＝84  
【5位】青山 緑（愛知・千早小6年）＝84 【6位】都 玲華（徳島・生光学園小6年）＝84  
【7位】酒井夏鈴（岐阜・富加小5年）＝85 【8位】勝亦令奈（静岡・加藤学園暁秀初等学校5年）＝86  
【9位】横山百合香（愛知・城北小5年）＝86 【10位】杉本花波（京都・伏見板橋小5年）＝86  
【11位】山田ころ（大阪・東佐井寺小6年）＝86

▽9-10歳男子

【1位】平松孝太郎（大阪・市岡小3年）＝82 【2位】小杉飛翔（兵庫・加古川小3年）＝85  
【3位】時本晃志（千葉・田中小4年）＝85 【4位】田中天晴（東京・深大寺小3年）＝89  
【5位】赤松成真（和歌山・市ノ瀬小3年）＝89

▽同女子

【1位】秋田光梨（大阪・伊加賀小4年）＝78 【2位】江河 怜（大阪・松原東小4年）＝79  
【3位】清本美波（愛知・向山小4年）＝80 【4位】下田沙幸（愛知・橘小4年）＝81  
【5位】三井優奈（大阪・吹田第一小3年）＝84

▽7-8歳男子

【1位】石垣龍之介（三重・桜島小2年）＝75 【2位】児玉志優（奈良・真弓小2年）＝76  
【3位】森山遼一（兵庫・加古川小1年）＝77

▽同女子

【1位】小宮千愛（愛知・小清水小2年）＝86 【2位】横山椿咲（愛知・城北小2年）＝86  
【3位】小暮沙奈（千葉・高洲北小1年）＝89 【4位】岩永杏奈（兵庫・塚口小1年）＝95

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

### <関西・東海予選 ハイライト1>

#### ◇15-17歳の部男子◇三重・亀山GC西C(15-17歳の部男子/6717ヤード、パー72)

山内一輝(大阪・追手門学院大手前中3年)がなんとか逃げ切って、トップで西日本決勝大会(4月2、3日、佐賀・若木GC)に進んだ。インスタートの14、16番でバーディーを奪って2アンダーでターン。その時点では抜け出していたが「ショットは思い通りにいかなかった」と、後半7番では2OBで9をたたくなどスコアを崩した。同組の阪根竜之介(東京・国土館高2年)に通算5オーバー77で追いつかれたが、18番からのカウントバックで辛くも振り切った。「9をたたいた後、パーで上がったのがよかった。気持ちを少しコントロールできるようになってきたと思います」と前向きにとらえる。「日本代表になりたいけど、九州で試合をしたことがないので芝の違いとかあると思う。でも、いまスイング改造をしているので結果を出したい」と、意気込みを見せていた。

### <関西・東海予選 ハイライト2>

#### ◇15-17歳の部女子◇三重・亀山GC西C(15-17歳の部女子/6152ヤード、パー72)

昨年の日本女子アマで2位に入った王天妤(兵庫・ルネサンス大阪高1年)が貫録を見せた。インスタートの13、14番で80センチにつけるバーディーを奪って波に乗った。15番でボギーにしたが、16、18番も取って3アンダーに伸ばした。後半はスコアを落としたが、全選手の中でただ一人アンダーパーの1アンダー71をマークして、西日本決勝大会(4月2、3日、佐賀・若木GC)へトップ通過を果たした。「今日はアイアンがよかった。練習してスイングが少し直ってきて、ストレートかちょっとドローの球筋に安定してきました」と、振り返った。「米国に行ってみたい」とこの予選に挑戦したという。西日本決勝大会で2位以内に入れば出場権を得る。「優勝とかを目標にしないで、普段の練習を精一杯やって結果がついてくればいいと思います」といい「球筋をもっと安定させることと、ショートゲームをもっと練習します」と、課題を挙げていた。

### <U6決勝 ハイライト3>

#### ◇6歳以下の部男女 ◇三重・亀山GC亀の子ショートC(6歳以下の部男女/1765ヤード、パー64)

IMG A世界ジュニアゴルフ選手権日本代表が2人決まった。一発決勝の6歳以下の部を制したのは、男子は、根本悠誠(ゆうま、千葉・柏さくら幼稚園年長)が3アンダー61の好スコアをマークして優勝した。「練習ラウンドでは9アンダーが出ていた」といい「普通にうれしい」とはにかんだ。この日はパー5でイーグル2つなどショットが好調。「アプローチが得意。今日はよかった」と胸を張った。「世界で優勝する自信は」と聞くと「ウン」とうなずいていた。女子を制したのは、長峰真央(ちかみ、千葉・若葉台幼稚園年長)。89のスコアながら2位に4打差をつけた。「きょうは打ちすぎた。パターを打ちすぎた」と反省。それでも「9番と18番でパーが取れたから気持ちよかった」とすぐにニコニコ顔に。「今日はユーティリティーがうまくいかなかった。世界ジュニアまでにうまくなって勝ちたい」とこちらも世界一が目標だ。



写真： 左/根本悠誠(左)と長峰真央(6歳以下男女日本代表)、中央/山内一輝(15-17歳の部男子)、右/王天妤(15-17歳の部女子)、写真クレジット：© I J G A 2 0 1 6